



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第31号 NO. 031

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2018年7月1日

避難所開設運営訓練(HUG)講習会報告

日本防災士会横浜支部の平成30年度「事業計画」の一環として、避難所開設運営訓練(HUG)について、講習会を実施いたしました。関係機関からの講師の派遣依頼に的確に対応出来る知識、技術のスキルアップの向上を目的に開催いたしました。

日 時 平成30年7月1日(土曜日) 10:00~12:00

会 場 横浜市市民防災センター 1階 研修室 (横浜市神奈川区沢渡4-7)

対 象 者 日本防災士会 横浜支部会員 出席者 22名

実施内容

(1)事務局欠席のため鈴木事務局により開催のあいさつが行なわれました。

(2)支部長のあいさつ

最近、横浜支部に行政、各事業所等、地域自治会等からの防災講演会・研修会についての講師派遣の要請依頼が増していることから、これらの要請に対応するために会員のスキルの向上を目指して、この講習会を実施致します。



鈴木事務局の開催のあいさつ



今井支部長のあいさつ

(3)長沼講師(副支部長)による実施方法についての説明がありました。

- ・最初の30分間は、座学で阪神・淡路地震・東日本大震災時の「避難所における避難状況を、パワーポイントを使い解説する。

これからの避難所開設運営委員の中には多くの女性委員を選任して、女性の目線での避難所開設が大変重要である。

- ・座学の後は、避難所開設運営訓練に移行し、3班に分かれて約1時間40分にわたり、運営ゲームを行なう。

- ・各班には避難ゲームの進行役として2名のファシリテーターを配置しゲームの流れをサポートして頂く。

- ・ゲーム終了時に各班のリーダーに感想、気づいたこと等を発表してもらう。



長沼講師による HUG の説明



1 班の皆さんと徳江・加藤ファシリテーター



2 班の皆さんと乾・渡辺ファシリテーター



3 班の皆さんと飛田・小菅ファシリテーター

【各班発表】

- 1班: 色々な事が発生する。健康な避難者と他の要援護者等についての判断・・・一時的に判断することが出来るが、希望者に従う事が出来ない事もあるのではないかな。
- 2班: 運営本部の設置, ペットの問題は難しい。飼い主の気持ちと避難者の健康・ストレス等の状況を考える必要がある。酸素ボンベを必要としている要支援者の問題は命に係わることであり、個々に判断することが必要である。
- ・3班: 色々な人が、色々な問題を抱えている。避難所へ来る人の希望もある。それを判断する人が必要である次から次へと判断していかななくてはならない。時間的に判断する事も必要である。

【支部長感想】

各班の代表に発表してもらったことで、避難所運営に関わる苦労が共有できる講習会になりました。

文責 防災士会横浜支部
支部長 今井 淳